

2021年3月チェルノブイリデー

3・26原発ゼロ！核ごみ／一宣伝行動

原発と人類は共存できません 原発ゼロ実現を開く年に！と声をあげましょう

チェルノブイリ原発事故から34年11カ月。いまだ30キロ圏内は立ち入り禁止です。事故を起こした4号機を覆っていた石棺が壊れ、2年前に巨大な鋼鉄製シェルターで覆い、そのなかで廃炉作業中です。福島第一原発事故では、事故から丸10年を前に、約3万6千人（21年2月）の県民が避難を強いられ“ふるさと”を奪われたままです。原発と人間社会が共生できないことは明らかです。今年こそ原発ゼロ実現を開く年に！と声を上げましょう。

コロナ対応と原発は両立不可能。審査に「合格」できない泊原発は廃炉に！

新型コロナウイルスがおさまる気配は見えません。感染防止策の“3密回避”や換気と原発事故時の放射線防護策は両立できません。新型コロナ禍中、原発稼働はやめるべきです。

泊原発停止から間もなく丸9年、電力不足はありません。規制委の審査に7年半余も「合格」できない泊原発再稼働は無謀です。速やかに廃炉を決断すべきです。気候変動対策が待ったなしの今日、自然の宝庫・北海道でこそ、原発も石炭火発も廃止し、再生エネへ転換すべきです。

核のゴミの地層処分に国民合意はない！寿都・神恵内での文献調査は中止を！

昨年11月、NUMO（原子力発電環境整備機構）は経産相の認可を受け、寿都町と神恵内村で核のゴミの文献調査を開始、常駐職員を配置し住民対話を進め、最終処分場選定までやる構えです。

しかし、日本学術会議は、2010年の政府の地層処分にに関する諮問に対して、2012年9月、万年単位もの長期間、日本列島に安定した地層の確保は、「現在の科学的知識と技術的能力では限界がある」「地層処分方針の根本的見直し」を回答しています。しかも寿都町には黒松内低地断層帯が走り、神恵内村地域は地震性隆起が指摘され、どちらも地層処分場には全く不適地です。多額の交付金を餌に、住民合意もなく、また両町村の新総合振興計画（20年4月スタート）にも反する核のゴミの処分場の候補地選定の文献調査に応募・受諾するなど明らかに間違っています。寿都町長も神恵内村長も交付金目当ての応諾を撤回し、直ちにNUMOに調査の中止と撤退を求めるべきです。

市民と野党の共闘で、菅自公政権を倒し、野党連合政権で原発ゼロ実現を！

菅自公政権の原発・核燃サイクル政策推進はすでに破たんが明白です。菅首相が、日本学術会議が推薦した会員名簿から6人の任命を拒否したことは、日本学術会議の独立性を踏みにじり、科学無視、学問・研究の自由に反する憲法違反の暴挙であり許されません。断固撤回を求めます。

今年は秋までに総選挙が行われます。市民と野党の共闘で菅自公政権を倒し、野党連合政権を樹立し、「原発ゼロ・省エネ」「再生可能エネへ転換」＝原発ゼロ基本法制定を実現しましょう。

◇日時 **2021年3月26日(金)12時15分～45分**

◇場所 **JR 札幌駅北口駅前広場(西側)**

◇主な行動 **核ごみ文献調査撤回と再稼働認めない署名、原発ゼロ実現を訴えます**



ふくしま10周年鎮魂と連帯行動
(21年3月11日、JR札幌駅前)



東日本大震災・福島原発事故10周年メモリアルデー
(2021年3月11日 JR札幌駅南口駅前広場 黙とう中)

主催：原発問題全道連絡会・国民大運動北海道実行委員会

(〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 道労連内 Tel: 011-777-1060, Fax: 777-1061)

原発連事務局短信 第 1076 号 2021年 3 月 8 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

寿都町の核ごみ交付金予算削除と概要調査時の住民投票条例制定でなく文献調査の是非を問う住民投票を直ちに実施し、町民の信頼を回復すべき一緊急要請文を送付

一道原発連が 3 月 6 日、寿都町長、町議会（議長）、全町議宛に一

寿都町で開会中の第 1 回定例町議会で、当初予算案に核ごみ文献調査に伴う交付金が計上され、また精密調査時に住民投票を実施する条例案（町長提案）に対し、概要調査時にも住民投票を行うとする修正条例案が提案され、特別委員会で「修正条例案」が多数（5 対 3）で可決され、3 月 8 日の本会議に報告、可決される動きとの報道に、道原発連は 3 月 6 日に急遽要請文を作成。住民合意のない文献調査の交付金関係予算を削除し、概要調査時の住民投票条例でなく、文献調査の是非を問う住民投票条例を制定し直ちに住民投票を行い町民の信頼を回復すべきとする要請を、町長、町議会（議長）、9 議員に行いました。緊急要請は、次頁別添のとおり。

一核ごみの文献調査撤回求める署名がますます重要。

3 月末に向けて集中的に集め送付して下さいー

3 月末に向けて、寿都・神恵内両町村長宛の核ごみ文献調査撤回

署名、知事宛「泊原発再稼働認めないで」署名をたくさん集めましょう

ー3 月末で集約します。集めた署名は、060-0808 札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エル・プラザ 2 階 市民活動サポートセンター事務ブース2 原発問題全道連絡会宛 に送付下さいー

東日本大震災・福島原発事故 10 周年。3・11 鎮魂と連帯のメモリアル行動を 50 人規模で成功させよう

ー10 年たっても復興せず、完全賠償、地場産業再生、健康補償、ふるさと再生をー

ー2 月 13 日の震度 6 強の余震に 10 年前の大震災の恐怖よみがえるー

ー全道各地から、追悼と連帯の輪をひろげ、政府・東電に責任を果たさせよう！ー

◇日時 3 月 11 日(木)午後 2 時～3 時

◇場所 JR札幌駅南口駅前広場(午後 2 時集合、3 ブロックで署名とトーク)

◇行動 リレートークと 3 つの署名、チラシ配布、午後 2 時 46 分に黙とう

福島からのメッセージ紹介

(別添)

2021年3月6日

片岡 春雄 町長
小西 正尚 町議会議長
町議会議員 各位

原発問題全道連絡会

第1回定例寿都町議会の住民投票条例案と新年度当初予算案に関する要請

開会中の第1回定例寿都町議会では、3月8日の本会議で、高レベル放射性廃棄物・核のごみの最終処分場選定に向けた3段階の調査について、第2段階の概要調査前に町民に是非を問う住民投票を行う条例案が提出され、合わせて文献調査実施と引き換えに国から支給される交付金を盛り込んだ2021年度一般会計予算案の審議が行われる予定と報道されています。

しかし、核のごみの文献調査への応募は、「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」にもとづく核のごみの最終処分の推進に際し、国と原子力発電環境整備機構が決められている巨額の交付金を目当てにした片岡春雄町長が「肌感覚」で独善的に民意分断の中、強行したものであり、住民自治の原則に反するもので容認できません。

ついては、片岡春雄町長と寿都町議会、町議会議員各位に、緊急に以下のことを要請します。

一、本会議に提出される「住民投票条例案」は、町民合意がない文献調査の進展が前提とされており、容認できません。ただちに実施すべきは文献調査への応募の是非を問う住民投票です。ふさわしい条例を制定し速やかにその住民投票をおこなうこと。

二、町民合意のない交付金を歳入に盛り込んだ2021年度当初予算案は、深刻な民意の分断と、町と町財政運営の混乱を一層引き起こすものであり容認できません。町民合意のない核のごみの文献調査応募対応の交付金を予算案から削除し、上記(一)を実施し町政への信頼を回復すること。

以上

[連絡先

原発問題全道連絡会

060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22
道労連内

Tel : 011-777-1061 Fax : 011-777-1061

e-mail: genpaturen@gmail.com

]

原発連事務局短信 第 1075 号 2021年 3 月 6 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

東日本大震災・福島原発事故 10 周年。3・11 鎮魂と連帯のメモリアル行動を大きく成功させましょう

—10 年たっても復興せず、完全賠償、地場産業再生、健康保障、ふるさと再生を—
—2 月 13 日の震度 6 強の余震に 10 年前の大震災の恐怖よみがえる—
—全国各地から、追悼と支援、連帯の輪をひろげ、政府・東電の責任を問おう！—

◇日時 3 月 11 日(木)午後 2 時～3 時

◇場所 JR札幌駅南口駅前広場(午後 2 時集合、3 ブロックで署名とトーク)

◇行動 リレートークと 3 つの署名、チラシ配布、午後 2 時 46 分に黙とう
福島からのメッセージ紹介

寿都・神恵内の核ごみ文献調査中止・撤回へ

—文献調査撤回求める署名が重要。3 月末まで集中的に集めよう—

両町村当初予算案には、住民合意がないまま文献調査交付金が計上されています。寿都町議会は、概要調査前の住民投票条例策定で住民の批判をそらす狙いです。予算案は撤回し、住民投票するなら文献調査応募の是非を問う住民投票にすべきです！

3 月末に向けて、寿都・神恵内両町村長宛の核ごみ文献調査撤回

署名、知事宛「泊原発再稼働認めないで」署名をたくさん集めましょう

—3 月末で集約します。集めた署名は、060-0808 札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エル・プラザ 2 階 市民活動サポートセンター事務ブース2 原発問題全道連絡会宛 に送付下さい—

「大震災・ふくしま原発事故から 10 年。

「原発ゼロの日本へ」政治転換を実現しよう!!

「原発をなくす全国連絡会」の呼びかけに応え頑張りましょう！

福島原発事故 10 周年。下記の 2 つの記念集会も成功させましょう

*福島原発事故から 10 年！私たちは忘れない！ 会場：自治労会館 5 階大ホール(定員 100 人)
さようなら原発北海道集会—3 月 13 日(土)10 時～11 時 YouTube live 配信

*フクシマから 10 年、原発と核ごみを考える 3・14 集会

「いま原子力を問う—知事として向き合ってきたこと—元高知県知事 橋本大二郎さん講演会

・日時 3 月 14 日(日)開場 午後 1 4 時 開演 14 時 30 分 終了予定 17 時(予定)

・会場 札幌エル・プラザ 3 階大ホール

参加費：1000 円(予約不要)

原発連事務局短信 第1074号 2021年 2月 26日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

雪が舞う中の2月チェルノブイリデー 6団体14名

2・26 原発ゼロ、核ごみノー！昼休み宣伝行動

「寒い中ご苦労さんです。こういう署名は必ずするの」と寿都町長と神恵内村長宛の核ごみの文献調査撤回を求める署名にしっかりサインした恵庭市の高齢の女性。足を止めて署名用紙を覗き込んでボールペンを受け取り丁寧にサインする中央区の年配の男性など、原発ゼロ、核ごみノーの道民の思いが伝わってきました。



マイクからは、堀一原発連代表委員を皮切りに、道民医連の木幡秀男社保広報部長、共産党道委員会の白鳥文秋政策委員長が代わる代わるスピーチ、「26日は、1986年4月26日のチェルノブイリ原発事故が起きた日にあたります。私たちはこの日に毎月、原発なくそう、核のごみのない北海道にしよう」と述べ、「泊原発の再稼働を認めないで下さい」という道知事宛署名と、核のごみの文献調査の撤回を寿都町長と神恵内村長に求める署名へのご協力をお願いします。原発ゼロ基本法を実現しようリーフをお受け取りいただき、署名にご協力をお願いします」などと訴えました。この日は、寿都町長宛の核ごみ文献調査撤回署名が20筆、神恵内村長宛が23筆、鈴木知事宛が2筆でした。

3月末に向けて、寿都・神恵内両町村長宛の核ごみ文献調査撤回署名、知事宛「泊原発再稼働認めないで」署名をたくさん集めましょう

ー3月末で集約します。集めた署名は、060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エル・プラザ2階 市民活動サポートセンター事務ブース2 原発問題全道連絡会宛 に送付下さいー

「ふくしまの復興と原発ゼロをめざす大運動」をすすめ、原発ゼロを政治の争点に押し上げよう

ー原発をなくす全国連絡会(全日本民医連内)が第9回総会で確認ー
原発をなくす全国連絡会は25日の第9回総会で、標記の「大運動」推進を確認しました。

福島原発事故10周年。3つの記念集会を成功させましょう

*3・11 東日本大震災・福島原発事故10周年。原発ゼロ実現へ 鎮魂と連帯の行動(予定)

・日時 3月11日(木) 14時～15時 会場・JR札幌駅南口駅前広場

・主催 原発問題全道連絡会/国民大運動北海道実行委員会

*福島原発事故から10年！私たちは忘れない！ 会場：自治労会館5階大ホール(定員100人)
さようなら原発北海道集会ー3月13日(土)10時～11時 YouTube live配信

*フクシマから10年、原発と核ごみを考える3・14集会

「いま原子力を問うー知事として向き合ってきたことー元高知県知事 橋本大二郎さん講演会

・日時 3月14日(日) 開場 午後14時 開演 14時30分 終了予定 17時(予定)

・会場 札幌エル・プラザ3階大ホール

参加費：1000円(予約不要)

原発連事務局短信 第1073号 2021年 2月 25日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

明日の2月チェルノブイリデーにご協力を！

2・26 原発ゼロ、核ごみノー！ 昼休み宣伝行動

- ◇日時 2月26日(金)12時15分～同45分
- ◇場所 JR札幌駅北口駅前広場西側
- ◇主な行動 原発ゼロ・核ごみノー！の宣伝・署名行動
- ◇主催 原発問題全道連絡会・国民大運動北海道実行委員会

2月21日 “3・11フクシマを忘れない！” “大間原発いらない！”

バイバイ大間原発 はこだてウオーク

3.11 福島原発事故から10年、未だに終息せず、福島の人々は困難を強いられています。コロナ禍の中、2月21日40人ほどが集まり、大間原発反対集会・ウオークをしました(写真)。



始めに大間原発訴訟の会代表の竹田とし子さんは挨拶の中で「福島原発事故から10年経った今、エネルギー政策として原発推進を掲げている。私たちだけではなく後の人々の問題でもある。まだまだ頑張らなくては」と。

また衆議院議員逢坂誠二さんの秘書木村さんは国会で「安全安心な避難が出来ない限り再稼働させないといった菅首相にその言葉を守らせるようにします」。紺谷克孝函館市議会議員は「函館市で起こしている裁判を議会の中で一層支援していく」と発言されました。

春を感じさせる日差しの中で、金盛倉庫群の中を「福島を忘れない！」「大間原発いらない！」「子どもを守れ！ふるさとを守れ！」と参加者の熱い思いのこもったシュプレヒコールが響き渡ります。新たな原発は作らせない、今ある原発をすべて廃棄、そして核のゴミをどこにも捨てさせない、そんな日本を子どもたちに手渡したいと思います。(函館の紺谷克孝理事紹介のMTさんから)

大間原発訴訟 札幌高裁第6回口頭弁論 条件のある方は傍聴しましょう

- ◇日時 3月2日(火)午後2時～ 傍聴希望者は、13時までに札幌高裁1階ロビー集合
- ◇場所 札幌高等裁判所 ◎報告集会(未掌握ですが、口頭弁論終了後開催されます)

福島原発事故10周年。3つの記念集会を成功させましょう

*3・11 東日本大震災・福島原発事故10周年。原発ゼロ実現へ 鎮魂と連帯の行動(予定)

- ・日時 3月11日(木)14時～15時 会場・JR札幌駅南口駅前広場
- ・主催 原発問題全道連絡会/国民大運動北海道実行委員会

*福島原発事故から10年！私たちは忘れない！ 会場：自治労会館5階大ホール(定員100人)
さようなら原発北海道集会—3月13日(土)10時～11時 YouTube live配信

*フクシマから10年、原発と核ごみを考える3・14集会

「いま原子力を問う—知事として向き合ってきたこと—元高知県知事 橋本大二郎さん講演会

- ・日時 3月14日(日)開場 午後14時 開演14時30分 終了予定17時(予定)
- ・会場 札幌エル・プラザ3階大ホール 参加費：1000円(予約不要)

原発連事務局短信 第 1071 号 2021年 2月 15 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

泊原発敷地内のF-1断層、活断層の可能性低い

—規制委の2月審査会合で石渡委員が表明～次回審査会合で決着の可能性—

泊原発の審査会合が2月12日に開かれ、規制委の石渡明委員は、敷地内の断層が活断層かどうかの焦点になっている1,2号機の直近を通るF-1断層について、「後期更新世より古い堆積層であると判断に至る可能性が高くなってきた」と述べ、活断層でないとする北電の主張を認める可能性が高くなってきました。

この日の審査会合で北電は、新たな地層データなどでF-1断層は12万～13万年前以降動いていないと改めて主張、規制委は、結論を補強するデータの拡充を求め、それを持って判断するとしました。北電は、データを追加するのに1カ月程度かかると回答し、次回3月以降の審査会合で敷地内断層が活断層かどうかについて決着する可能性が濃厚となってきました。

基準地震動や基準津波、防潮堤液状化対策など審査の長期化必至

しかし、仮に次回審査会合で敷地内断層が活断層でないとなったとしても、泊原発の審査は、泊原発西方沖海底活断層の影響や基準地震動、基準津波、防潮堤液状化対策など、引き続きお多くの課題が残されており、審査の長期化は避けられません。すでにこの間、安全対策に2000億円台半ばの多額の資金が投入されているとされますが、引き続き審査に適合するために対策費は膨らみ続けることは必至です。また、泊原発は2012年5月5日から3機とも運転停止中ですが、2012年度から2019年度まで8年間に北電が泊原発維持に投じた原子力発電費は5641億円（北電の有価証券報告書）にのぼっており、停止中も維持費に毎年平均700億円もかかっており、原発ほど金のかかる電力設備はありません。こんな泊原発は、再稼働せず速やかに廃炉を決断すべきではないでしょうか。

福島原発事故 10 周年。記念集会を成功させましょう

*3・11 東日本大震災・福島原発事故 10 周年。原発ゼロ実現へ 鎮魂と連帯の行動(予定)

・日時 3月11日(木) 14時～15時 会場・JR札幌駅南口駅前広場

・主催 原発問題全道連絡会/国民大運動北海道実行委員会

*フクシマから10年、原発と核ごみを考える3・14集会

「いま原子力を問う—知事として向き合ってきたこと—元高知県知事 橋本大二郎さん講演会

・日時 3月14日(日) 開場 午後14時 開演 14時30分 参加費:1000円(予約不要)

一緒に考えてみませんか？

原発ゼロ・核ごみのない北海道の未来

—真下紀子道議(道原発連顧問)が「はつらつ道政レポート337」発行—

真下紀子事務所が2021年2月、議会報告・政策資料として、上記のパンフを発行しました。

今焦点となっている原発ゼロ、核ごみのない北海道の実現を考えるわかりやすいパンフです。

主な項目: * 「原発マネー36年間で1743億円—原発マネーあっても人口減少

* 「発電していない泊原発維持に5641億円」 * 「脱原発 自然エネルギーへ」

* 核ごみ処分場「安全基準なし」「影響評価なし」「処分量天井知らず」

* 「広がる核抜き条例」

(お問い合わせは、真下紀子事務所・TEL・0166-20-0808 Fax・0166-20-1616

または道議会4階 日本共産党道議団控室・TEL:011-204-5915)